

# 大田高校 人権だより

## <3学期の人権教育HR活動報告>

### 2年生・・・「教科書無償化運動」に学ぶ

本校の2年生は歴史を通じて差別の問題を学んでいます。今回は、「教科書無償化運動」について学びました。被差別部落や貧しい地区で暮らし、子ども達に教科書を買ってやれないお母さん達が、学習会を通じて憲法を学び、「無償」という制度を実現してもらうため、町の議会に訴えます。小さな町から起こった運動が、やがて国会でも取り上げられ、すべての子どもたちに保障されるまでを学びました。高校の授業料や教科書は無償ではありませんが、小・中学校での学びが約束されてこそ高校での学習が成り立つのですから、その意義はとても大きいものです。そして現在、当時のお母さん達の根気強い活動を知り、私達は「学習の大切さ」について今一度考えることができました。HR活動では寸劇形式で無償化運動の流れを確認しました。生徒達はオスカー並の演技力で台本を読み上げ、それが一層場面のリアルさにつながりました。

生徒達の感想の一部を紹介します。(原文ママ)

\*\*\*\*\*

教科書を買えない人が批判するのはわかるけど、買える人も不平等だと考え、その運動に加わったというのはすごいことだと思いました。運動を起こすことは何かを変えるために大切なことだと思いました。

\*\*\*\*\*

今では当たり前になっている、小・中学校での教科書の無償化もそこまでいくの大変だったことを知ることができた。「教科書を買える・買えない」ではなく、「憲法を守ってほしい」と訴えているのが印象に残った。このことを早く知っていれば、もう少し教科書を大切に使ったかも知れない。

\*\*\*\*\*

みんな感情をこめてやっていてすごく楽しかったです。勉強ができることは当たり前じゃないということに改めて気づきました。

\*\*\*\*\*

この運動は、A地区の人々だけにとどまらず、多くの人に働きかけて団結して問題の解決に取り組んだことが成功につながったと思います。一部の人のことだと傍観するのではなく私達皆の人権として守っていく運動に積極的に参加していきたいです。医学部志望の女子の立場が不利になるのはおかしいし、感染症で「〇〇アウト」というのは差別だと思う。

\*\*\*\*\*

「差別をなくすための行動は、私達全員の人権を守り、社会全体を豊かにするために重要なもの」という言葉をこれからも心に留めておこうと思いました。

\*\*\*\*\*

差別されている一部のの人に限らず、一人の人間、国民の中の一人としての権利をより良くするのは素晴らしいことだし、権利を獲得するにはたくさんの人の協力が必要であると感じました。

\*\*\*\*\*



## <1年間を振り返って>

各学年それぞれの目標を掲げて人権・同和教育に取り組んでいますが、実際に生徒達が社会に出て直面する、あるいは体験するかもしれない課題は日々変化しています。担当の私自身も、研修会に参加する度に、「まだこんなことがあるんだ」「現在はこういう課題もあるんだ」と新しい発見をさせてもらっています。社会に出ても「差別を見抜く力」「差別に立ち向かう力」を伸ばせるよう、今後も学校全体で人権・同和教育を推進してゆきたいと考えています。

発行 令和2年3月1日  
大田高等学校 人権・同和教育部